

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フォーバル・リアルストレート
コード番号 9423 URL <http://www.realstraight.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 武林 聡
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 早川 慎一郎

TEL 03-5468-6902

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	189	—	△24	—	△24	—	△23	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 △23百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△112.81	—
25年3月期第1四半期	—	—

当社は、25年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、25年3月期第1四半期の記載はございません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	116	△1	△6.6
25年3月期	145	21	11.1

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 △7百万円 25年3月期 16百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	△13	—	△13	—	△15	—	△71.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	210,750 株	25年3月期	210,750 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	― 株	25年3月期	― 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	210,750 株	25年3月期1Q	177,600 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀によるデフレ脱却に向けた大胆な金融・財政政策、いわゆるアベノミクスへの期待から景況感が好転するとともに、輸出関連企業を中心に企業収益の改善が見込まれるなど、一部に景気回復の動きが見られました。一方、欧州経済の低迷やアジア新興国の成長鈍化等の景気下振れリスクが依然として存在し、先行きに対する不透明感を払拭できない状態が続きました。

このような経済環境の中、東京都心5区（千代田・中央・港・新宿・渋谷区）のオフィスビル市場においては、平成25年6月末時点の平均空室率が8.46%となり、前連結会計年度末比で小幅に低下しております。（注）

その一方で、東京都心5区の平成25年6月末時点における平均賃料は前年同月比で386円（2.30%）下落し16,377円／坪となりました。（注）

当第1四半期連結累計期間において、当社は引き続き顧客企業の移転時における、不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までをトータルにサポートするソリューション事業を中心に事業活動を進めてまいりました。

不動産仲介等の売上高については、24,404千円となりました。

内装工事等の売上高につきましては、142,611千円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が189,390千円、営業損失が24,026千円、経常損失が24,019千円、四半期純損失が23,774千円となりました。

（注）大手不動産会社調べ

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、116,587千円となりました。資産の主な内訳は、現金及び預金26,000千円、受取手形及び売掛金67,539千円、差入保証金10,628千円等であります。

負債は、117,942千円となりました。負債の主な内訳は、買掛金78,109千円、未払金17,791千円等であります。

以上の結果、純資産は、当第1四半期連結累計期間における四半期純損失の計上等により△1,354千円となり、再び債務超過に陥りました。自己資本比率は、前連結会計年度末の11.1%から△6.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきまして、平成25年7月9日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額はこの後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度（事業年度）まで3期続けて営業損失を計上しており、当第1四半期連結累計期間においても引き続き営業損失を計上していることから継続企業の前提に関する重要事象等が存在しております。

当社グループにおいては、当該状況を解消し黒字化を図ることが取り組むべき最優先課題であると考えており、以下に示す施策に取り組んでいる最中でございます。

・ソリューション事業の強化及び収益力の向上

不動産物件の仲介から内装工事、各種インフラの整備やオフィス機器・什器の手配までを行うソリューション事業においては、引き続き取り組みを強化してまいります。具体的には、物件情報の充実、機能拡充等、ナビサイトの適時更新による集客の強化に加え、カグクロ(株)と共同運営する法人向け賃貸事務所検索サイトのリリースや一括問合せサイトへの登録等、各種方法による集客強化を行ってまいりました。さらに、問合せチャネルの複線化としての紹介営業や代理店の構築、グループ会社顧客への働きかけ強化等による紹介案件の創出についても、コンスタントに問い合わせを獲得しており順調に推移しております。問合せ数の底上げを図るため、テレポイント要員の増加およびチームの結成、平成25年3月に完了いたしましたナビサイトの改修などを行っており、今後更なる問合せ数増加を見込んでおり、引き続き各取り組みを強化してまいります。

また、コスト面につきましては事業全体レベルでフォーバルグループのリソースと共有化を図り、引き続き低コストオペレーション化に取り組むことと、たとえ1円であろうと、必要でない経費は使わないという意識を、継続的に社内全体に浸透させることで、収益力の向上を図ってまいります。

・事業基盤の強化

ナビサイトや代理店等からの紹介、グループ会社顧客への働きかけ等、不動産関連業務の問い合わせからオフィス仲介、内装工事、各種インフラ・オフィス機器、オフィス什器の手配までの各プロセスの数値管理を徹底することと、業務フロー・役割分担を明確化することによる顧客対応レベル及びサービスレベルを継続的に向上させることで、事業基盤の強化を図ってまいります。

あわせてコーポレートスローガンである「「見つける」「創る」「活かす」」のリリースや、「FRSの強み」のリリース、当社ナビサイト「オフィス移転n a v i」の認知度向上のためのオリジナルエコバッグの作成やノベルティの作成・配布等、コーポレートブランド構築のための施策を随時実施しております。

当社グループは、上記の施策を実行することで営業損益及び営業活動によるキャッシュ・フローの改善を見込んでおります。また、平成24年11月9日に親会社である(株)フォーバルと貸付極度額40,000千円の特別貸付極度枠約定書を締結しており、平成25年7月30日付で20,000千円の資金調達を実施しております。さらに平成25年3月には第三者割当増資の引き受け先として資金支援を受けております。以上のことから、今後も親会社からは必要に応じて資金支援を受けることが可能と判断しております。

当社グループといたしましては、以上のことから、継続企業の前提に関する重要事象等を解消できるものと考えており、継続企業の前提に関する不確実性は認められないものと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,380	26,000
受取手形及び売掛金	85,683	67,539
その他	6,309	5,859
貸倒引当金	△8,280	△8,168
流動資産合計	119,093	91,231
固定資産		
有形固定資産	6,621	6,340
無形固定資産	8,812	8,301
投資その他の資産		
差入保証金	10,868	10,628
破産更生債権等	16,220	16,269
その他	157	86
貸倒引当金	△16,220	△16,269
投資その他の資産合計	11,026	10,714
固定資産合計	26,460	25,356
資産合計	145,553	116,587
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,870	78,109
未払金	10,216	17,791
未払法人税等	1,702	387
前受金	9,123	2,314
賞与引当金	7,911	3,960
その他	18,350	15,379
流動負債合計	124,174	117,942
負債合計	124,174	117,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	176,506	176,506
資本剰余金	76,506	76,506
利益剰余金	△236,916	△260,691
株主資本合計	16,096	△7,678
新株予約権	5,283	6,324
純資産合計	21,379	△1,354
負債純資産合計	145,553	116,587

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	189,390
売上原価	134,375
売上総利益	55,015
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	28,118
その他	50,923
販売費及び一般管理費合計	79,042
営業損失(△)	△24,026
営業外収益	
受取利息	0
雑収入	6
営業外収益合計	6
経常損失(△)	△24,019
特別利益	
事業譲渡益	500
特別利益合計	500
税金等調整前四半期純損失(△)	△23,519
法人税、住民税及び事業税	255
法人税等合計	255
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△23,774
四半期純損失(△)	△23,774

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)		△23,774
四半期包括利益		△23,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		△23,774

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において23,774千円の四半期純損失を計上いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において1,354千円の債務超過となっております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社は、ソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

資金の借入

当社は、平成25年7月30日付で、20,000千円の資金の借入を実行しております。

概要は次の通りです。

- (1)借入先 : 株式会社フォーバル
- (2)借入金額 : 20,000千円
- (3)借入金利 : 年 2.0%
- (4)返済方法 : 期日一括
- (5)借入実行日 : 平成25年7月30日
- (6)返済期限 : 平成26年6月30日
- (7)担保の状況 : 無担保、無保証
- (8)資金使途 : 運転資金
- (9)当社との関係 : 当社普通株式を128,420株(平成25年6月30日現在)保有している親会社であり、役員の兼務、サービスの取次、商品仕入等の営業取引を行っております。